

「北海道総合開発計画の推進について（第1回計画推進部会 資料3）」からの主な変更点について

資料2

変更前	変更後
	<p>6 ページ 「観光先進国」実現をリードする世界水準の観光地の形成④ (ページを追加)</p>
<p>6 ページ 食料供給基地としての持続的発展①</p>	<p>7 ページ 食料供給基地としての持続的発展① (中上) 【課題】 (「北海道農業就業人口の推移」グラフを追加)</p>
<p>9 ページ 食料供給基地としての持続的発展④《主な取組 品目毎の輸出力強化》 (右上) 【主な施策】 (<u>高度に衛生管理された水産物</u>、<u>屋根付き岸壁</u>、<u>清浄海水施設</u>) (「熊石漁港のスケソウダラ取引単価と韓国向け出荷割合」グラフ)</p>	<p>10 ページ 食料供給基地としての持続的発展④《主な取組 品目毎の輸出力強化》 (右上) 【主な施策】 (<u>高度に衛生管理された水産物</u>、<u>屋根付き岸壁</u>、<u>清浄海水施設</u>に、<u>荷さばき所等付帯施設</u>等を含めた全体イメージ図に変更) (「湧別漁港における衛生管理対策によるホタテ輸出量増大」のグラフに変更)</p>

<p>10ページ 北海道型地域構造の保持・形成①</p> <p>(右中) 【地域構造の望ましい姿～「生産空間」のサバイバル～】</p> <p>頼り頼られる3つの層の「重層的な役割分担」と「ネットワークによる連携」で課題に対応</p>	<p>11ページ 北海道型地域構造の保持・形成①</p> <p>(右中) 【地域構造の望ましい姿～「生産空間」のサバイバル～】</p> <p>頼り頼られる3つの層の「重層的な役割分担」と「ネットワークによる連携」(北海道版コンパクト+ネットワーク)で課題に対応</p>
<p>13ページ 地域づくり人材の発掘・育成</p> <p>(左下) 【主な施策 ～北海道価値創造パートナーシップ活動の展開】</p> <p><u>地域パートナーシップ活動</u> 地域の課題や特性に応じたテーマを設定し、<u>地域の課題解決に取り組む</u></p>	<p>14ページ 地域づくり人材の発掘・育成</p> <p>(左下) 【主な施策 ～北海道価値創造パートナーシップ活動の展開】</p> <p><u>地域パートナーシップ活動</u> 地域の課題や特性に応じたテーマを設定し、<u>地域の課題解決に向けた取組を</u>開発建設部が支援</p>
<p>16ページ 強靱で持続可能な国土づくり 再生可能エネルギーを活用した地域づくりの推進</p> <p>(左) 【現状】 ○北海道の一人当たりCO₂排出量は全国の約1.1倍 ◆北海道は、積雪寒冷地であり、(中略)化石燃料の使用が多い。</p> <p>(「全国の二酸化炭素排出量との比較」グラフ)</p>	<p>17ページ 強靱で持続可能な国土づくり 再生可能エネルギーを活用した地域づくりの推進</p> <p>(左) 【現状】 (削除) (削除)</p>

<p>16ページ (つづき) 強靱で持続可能な国土づくり 再生可能エネルギーを活用した地域づくりの推進</p> <p>(左)</p> <p>(「北海道と全国の部門別二酸化炭素排出量の構成比」グラフ)</p>	<p>17ページ (つづき) 強靱で持続可能な国土づくり 再生可能エネルギーを活用した地域づくりの推進</p> <p>(左)</p> <p>(削除)</p> <p>(下段) 【その他の再生可能エネルギーの利活用促進の取組】を追加)</p>
<p>17ページ 計画の進行管理について</p> <p>(上段)</p> <p>○計画を効果的に推進するため、行動の指針となる数値目標を念頭に置き、施策・取組を推進する。また、モニタリング指標をもとに計画の進捗状況を把握する。</p> <p>○計画の推進状況の点検においては、施策・取組の実施事例とその効果を把握する。また、数値目標やモニタリング指標を活用し、施策・取組の進捗を分析し、進展していない場合は、課題の抽出等を行い、その解決に向けた方向性、改善策を検討する。</p> <p><u>○なお、数値目標等については、社会経済情勢の変化や政策動向等を踏まえながら、フォローアップをしていく中で、柔軟に見直しを行う。</u></p>	<p>18ページ 計画の進行管理について</p> <p>(上段)</p> <p>○計画を効果的に推進するため、行動の指針となる数値目標を念頭に置き、施策・取組を推進する。また、モニタリング指標をもとに、進捗状況を把握する。</p> <p><u>○施策・取組の実施に当たっては、計画推進部会委員にファシリテーターとして参画して頂く。</u></p> <p>○計画の推進状況の点検においては、施策・取組の実施事例とその効果を把握する。数値目標やモニタリング指標を活用し、施策・取組の進捗を分析し、進展していない場合は、課題の抽出等を行い、その解決に向けた方向性、改善策を検討する。</p> <p><u>○また、社会経済情勢や政策動向等を踏まえ、新たな課題を共有し、これを念頭において計画を推進するとともに、数値目標等については、フォローアップをしていく中で、柔軟に見直しを行う。</u></p>

<p>17ページ (つづき) 計画の進行管理について</p> <p>(中段) 【計画の進行管理イメージ (H29～31 年度)】</p> <p>(右下) 【マネジメントサイクルによる進行管理イメージ】</p> <p>(イメージ図下部) <u>有識者</u></p>	<p>18ページ (つづき) 計画の進行管理について</p> <p>(中段) 【計画の進行管理イメージ (H29～31 年度)】</p> <p>(イメージ図左に <u>社会経済情勢や政策動向等</u> を追加)</p> <p>(イメージ図上段に <u>新たな課題の抽出・共有</u> を追加)</p> <p>(イメージ図 <u>施策・取組の実施</u> 下部に <u>ファシリテーターの参画</u> を追加)</p> <p>(右下) 【マネジメントサイクルによる進行管理イメージ】</p> <p>(イメージ図下部) <u>計画推進部会</u></p> <p>(イメージ図 <u>実施</u> 左部に <u>ファシリテーターの参画</u> を追加)</p>
<p>18ページ 数値目標の考え方</p> <p>(右上) <u>【現状値】</u></p> <p>(右中) 【数値目標】</p> <p>農業産出額 <u>11,500 億円</u> (H37 年)</p>	<p>19ページ 数値目標の考え方</p> <p>(右上) <u>【基準値】</u></p> <p>(右中) 【数値目標】</p> <p>農業産出額 <u>12,000 億円</u> (H37 年)</p>

20ページ

数値目標の定義等②

(左)

【農業産出額】

●目標値の考え方

主要品目毎の生産努力目標（第5期北海道農業・農村振興推進計画）が達成された場合の農業産出額を推計し、その値を目標値に設定。

21ページ

数値目標の定義等②

(左)

【農業産出額】

●目標値の考え方

主要品目毎の生産努力目標（第5期北海道農業・農村振興推進計画）が達成された場合の農業産出額を推計、これに加え価格変動等も加味し目標値を設定。